

工場のサイバーインシデントへの対策に特化した IT 面での BCP 策定を
生成 AI を用いて支援する
「今すぐ実践できる工場セキュリティハンドブック
サイバー対応 IT-BCP 編」公開

特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会（会長：江崎浩、本部：東京都港区、以下、JNSA と略す）の西日本支部（支部長：米澤美奈（株式会社ソリトンシステムズ））「今すぐ実践できる工場セキュリティ対策のポイント検討ワーキンググループ（リーダー：岡本登（富士通株式会社）、以下、工場 WG と略す）」では、このたび中小企業の製造業を中心に工場セキュリティ対策を進めるためのハンドブックとなる「サイバー対応 IT-BCP（事業継続計画）編」を公開しました。

本ハンドブックは「サイバー対応 IT-BCP」に対する解説、ひな形ともに、28 個の質問へ自社の情報を回答することで「サイバー対応 IT-BCP」策定のためのベースを生成 AI を利用して自動生成するツールを提供しています。

西日本支部工場 WG では、中小企業の製造業を中心に工場セキュリティ対策を進めるための参考書となる「今すぐ実践できる工場セキュリティハンドブック・リスクアセスメント編」（2022 年）、「今すぐ実践できる工場セキュリティハンドブック・リスク対策編」（2024 年）及び「工場セキュリティハンドブック・リスク対策集」（2024 年）を公開しています。今回の「サイバー対応 IT-BCP 編」をもって一連のシリーズ「今すぐ実践できる工場セキュリティハンドブック」が完成となります。

◆掲載 URL

「今すぐ実践できる工場セキュリティハンドブック サイバー対応 IT-BCP 編 第 1.0 版」
<https://www.jnsa.org/result/west/smb/>

◆本書の制作目的

JNSA 西日本支部では工場 WG が中心となって、工場のセキュリティレベル向上を目的とした「リスクアセスメント編」および「リスク対策編」のハンドブックを公開してきました。これらは、中小規模の工場において、リスクを把握することで防御に備えることを目的とした情報セキュリティ対策の実行の指針を示すために有効です。しかし、防御の備えは重要ですが万全の対策を行うことは困難であり、インシデントのリスクをゼロにすることはできません。

万一、インシデントが発生した場合には、その影響を最小限に抑え、迅速な復旧を行うことが重要であることから、工場のサイバーインシデントに特化した IT 面での BCP（事業継続計画）策定を支援するためのガイドとなる本書を作成いたしました。

特にサイバー攻撃の検知から被害に遭ったシステムの復旧までをフォーカスし、システム復旧と並行して、一般的な BCP に従って事業を継続することを想定しています。

「サイバー対応 IT-BCP」が、本書を利用する製造業を中心とした中小企業の自分たちの手で作成できるように、ひな形と生成 AI を活用したカスタマイズ方法も提供しています。

簡単な質問に対して自社の情報を回答したシートを作成するだけで、提供ツールが生成 AI を活用してカスタ

マイズされた「サイバー対応 IT-BCP」を作成します。

本書を有効に活用し、サイバーセキュリティインシデントに対するリスク軽減対策を進めてください。

◆本書の活用方法

1) 本編について

「なぜ IT 面での BCP 策定が必要であるのか？」について、具体例も踏まえて解説しています。経営者が自社に適用するためだけでなく、企業のセキュリティ管理者、IT 担当者、工場の管理者ら、従業員が経営者に策定を促すための資料としても活用できます。

2) 提供ツールの活用方法

・「EXCEL 版」は、シートテーブルにある 28 個の質問への回答を記載して、「AI プロンプト生成」ボタンを押下すると、生成 AI 用に流し込みするためのテキストファイルが自動で生成されます。

カスタマイズ要件定義

No	質問	回答例 1	回答例 2	回答
-	どのような分野の製造業ですか？	電子部品・デバイス・電子回路製造業	食料品製造業	
-	製造している製品の出荷が止まることは自社以外に大きな影響を与えますか？	大きな影響あり	若干影響あり	
-	サプライチェーンとして許容できる工場の稼働停止期間はどれくらいですか？	3日	2週間	
-	自社経営面で許容できる工場の稼働停止期間はどれくらいですか？	1週間	1週間	
-	残存リスクが懸念される脅威の入口はどこですか？	インターネット	保守用ネットワーク	
-	どのような情報セキュリティ対策を行っていますか？	ファイアウォール、アンチウイルス、ネット	USBメモリ使用禁止	

回答例を参考に「質問」への「回答」を入力

#18	セキュリティに関する内部監査はどれくらいの頻度で実施しますか？	年 1 回	年 1 回	
-----	---------------------------------	-------	-------	--

「回答」を入力後に AI プロンプト生成ボタンを押下

AI用プロンプト生成

・「HTML 版」では、WEB ブラウザを介して「EXCEL 版」と同様のテキストファイルを生成できます。「EXCEL 版」はマクロ機能を利用しており、ご利用いただけない企業様もあるかと思えます。御社のルールに従って、ご利用方法をご選択ください。

3) 生成 AI による自社向け「サイバー対応 IT-BCP」の制作

EXCEL または HTML ツールを利用して生成したテキストファイルをそのまま AI サービスに流し込みします。ChatGPT や Copilot、Gemini など公開サービスをご利用ください。

自社向けの「サイバー対応 IT-BCP」が生成 AI の回答として得られます。

「サイバー対応 IT-BCP」とともに、インシデント対応時や、日常の点検にご利用いただける「サイバーセキュリティインシデント対応チェックリスト」も生成されます。

基本的にどの生成 AI サービスでも使用できますが、サービスによって得られる結果には多少の違いがでま

す。複数のサービスを利用し、最適なものを選択ください。

■執筆メンバー（所属は2025年3月時点）（敬称略・順不同）

秋山 健一（株式会社NTT ファシリティーズ）

岡本 登（富士通株式会社）工場WGリーダー

河島 君知（株式会社NTT データ先端技術）

木村 哲也（兼松エレクトロニクス株式会社）

小柴 宏記（ジーブレイン株式会社）

近藤 伸明（株式会社神戸デジタル・ラボ）

塩田 廣美（協力者）

嶋倉 文裕（富士通株式会社）

芹川 正孝（オムロンソフトウェア株式会社）

田中 駿悟（フューチャー株式会社）

谷川 貴幸（フューチャー株式会社）

西本 敦司（アイネット・システムズ株式会社）

古川 佳和（大阪商工会議所）

松谷 和博（株式会社ソリトンシステムズ）

元持 哲郎（アイネット・システムズ株式会社）

安井 康二（株式会社サイバーディフェンス研究所）

米澤 美奈（西日本支部長／株式会社ソリトンシステムズ） JNSA 西日本支部 支部長

・オブザーバー

大財 健治（ケー・コンサルタント）

金子 啓子（JNSA 顧問）

西川 和予（プライムコンサルティング）

藤田 和弘（龍谷大学 教授）

塩田 廣美（ご協力者）

■本リリースに関するお問い合わせ先

特別非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会 事務局

メールアドレス sec@jnsa.org TEL 03-6435-6540

<取材のお申込み>メールまたは、以下のURLからご連絡ください。

<https://www.jnsa.org/aboutus/information/coverage.html>

■法人概要

【会社名】 特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会

【所在地】 東京都港区新橋5丁目7番12号

【事務局長】 下村 正洋

【設立】 2001年7月 【サイト】 <https://www.jnsa.org/>